

## 平成20年度第1回中原区区民会議協働推進事業検討部会 摘録

日 時：平成20年9月17日（水） 午後3時～午後5時

場 所：中原区役所5階505会議室

出席者：横川部会長、松原副部会長、川連委員、佐野委員、富岡委員、本目委員  
御前副区長、齋藤企画課長ほか区役所関係課職員

傍 聴：なし

報 道：なし

### 次 第

#### 1 開会

#### 2 中原区区民会議協働推進事業検討部会要領について

#### 3 正副部会長の互選

部会長に横川委員、副部会長に松原委員を決定

#### 4 会議録確認委員の選任

川連委員を選任

#### 5 議題

##### (1) 平成19年度中原区協働推進事業事業評価について

→資料2、3を用い事務局が説明

##### (2) 平成21年度中原区協働推進事業について

→資料5を用い事務局が説明

### 主な意見

- ・ 協働推進事業予算枠の5500万円は、事業の積み上げによるものか。  
⇒協働推進事業費については各区一律、5500万円となっている。（事務局）
- ・ 窓口サービス改善事業のローカウンターの設置について、もう少し詳しく話を聞きたい。  
⇒座って対応することが出来る、ローカウンターを区民課、保険年金課、市民税課、資産税課、納税課、衛生課の6課で設置をした。（区民課）  
⇒評判はどうだったのか。  
⇒高齢者からの相談が多くなってきている。立ったままの対応から座って対応できることによりサービスの向上が図れたと思う。反面、1件あたりの応対時間が長くなる傾向もある。（区民課）  
⇒建設センターは改善されていない。是非、区役所だけでなく進めてほしい。
- ・ 区役所庁舎内飾花事業で生け花の展示は1箇所のみか。いい事業なので、場所を目立たせるや設置箇所を増やすなど検討してみてもどうか。  
⇒お金をかけないでも、公募などでもやりたい人（団体）は多くいるのでは。  
⇒費用的には中原区文化協会に花代のみの実費でやってもらっている。今後、他

の団体（学校など）というような話があれば検討していきたい。（地域振興課）

- ・（「区民の手で花いっぱい中原」事業）図書館脇の花壇は周囲に放置自転車が  
いっぱい埋もれてしまっている。放置自転車を何とかしないと花が生きてこない。
- ・まちづくり推進事業運営支援事業の予算が大きいは何をしているのか詳細が分  
らない。

⇒予算の大きな所では議論や成果をまとめる為のコンサル費用がかかっている。  
委員会の活動は、区づくり白書や都市計画マスタープラン区民提案に基づく区の  
課題解決のための活動を行っている。また、区役所5階に設置されている、区民  
交流センターなどを通じて、市民活動団体同士や団体と地域の橋渡しの役割を  
担うことが期待されている。その活動の過程において支援が必要である。（地域  
振興課）

⇒プロの力を借りているので、そのスキルを学んで活かして欲しい。

- ・ 青少年吹奏楽コンサートは何校くらいの参加があるのか。  
⇒区内の8中学校、4高校の参加がある。（地域振興課）  
⇒予算は、各校に振り分けて支出しているのか。  
⇒費用の大半は、会場費と楽器レンタル費用である。（地域振興課）  
⇒少ない予算の中で、プロによる演奏も行っている。
- ・ 総合案内盤情報提供事業は19年度で終了ということだが、東急南口などは案内  
盤が設置されているないし交番もない。再開発の進展にあわせ北口だけではなく  
南口の案内板整備も進めてほしい。
- ・ 窓口サービスにおいて、最近、区役所の窓口の対応のレベルは非常に高い。サー  
ビスの質の向上は良いことだと思う。壁面の表示が紙で書いてあるのが残念だ。
- ・ 中原区役所壁面緑化事業は、いい事だが7月から10月で36万は高いのでは？  
⇒初年度工事ということで、ネットを張る工事費用及びプランター購入費用がか  
かっている。（企画課）  
⇒ゴーヤーの苗は何本購入したのか。  
⇒種を購入し、苗にした。（企画課）  
⇒ネットはいくつ買ったのか。  
⇒南、西面に各1つ購入したが、特注なので多少金額が高くなってるが、来年度  
以降は、その分の費用はかからない。（企画課）  
⇒来年度以降は、三分の一位で出来るのか。  
⇒20年度は土代、種代で行っている。
- ・ 子育て情報発信事業、決算額が0円だが、実施しなかったのか。  
⇒事業内容は、ホームページの更新だが、作業を所管課が自前で行ったため、費  
用がかからなかった。（子ども支援室）
- ・ 子育て関係は事業数が多いが、高齢者関係は1事業しかないが。バランスが必要

ではないか。

⇒中商連の主催で高齢者向け料理教室を行っているが、教室を行う料理店が狭く人数が限られてしまっている。

⇒19年度は「脳はつらつ教室」を高齢者支援課で行った。高齢者支援課では、介護保険や虐待予防などに取り組んでいる。平成20年度からは地域保健福祉課に移管し、高齢者の衛生教育、健康教育などを行っている。また、老人会では各地域において活発な活動を行っているので心配はないかと思われる。（高齢者支援課）

- ・ 駐輪場は増えて欲しいが、なかなか難しいと思う。二ヶ領沿いには、整理員も立っていて良いともう。利用者のマナー・モラルによるものだと思う。予算をもっと増やして欲しい。
- ・ 子育て支援系事業では、0～3歳、3歳～学齢など年齢を区切って事業を行っているように見えるが、体系的に子ども全般で統括したほうが効果的ではないか？  
⇒～就学前、学齢期～といった2つのネットワークを抱え、それぞれのニーズにあった情報発信、事業展開をしている。20年度に新設された子ども支援室は、0歳から18歳まで子ども全般を担当していく。（子ども支援室）
- ・ 軽度発達障がい児育児支援事業では、母親だけではなく、興味のある関係者や父親も対象にしてみてもどうか。  
⇒このような問題は、あまり公にすると、プライバシーの問題とか問題も多い。  
⇒乳幼児の親だけではなく、広く区民全体に向けた展開を検討している。（保健福祉サービス課）
- ・ 各事業において予算の確定はどのようになっているのか。  
⇒予算の流れは、区役所内にて事業の企画立案後、調整を行い、財政課とのヒアリングにより確定する。区民会議などで頂いた意見は、事業の計画立案や予算を作成する場合において、参考にさせていただきます。